

産業廃棄物処理計画書	
2026年6月30日	
東大阪市長 殿	
提出者	
住 所	大阪府東大阪市若江東町3-1-1 KOGI bldg2.F
氏 名	株式会社 晃技開発 代表取締役 森川晃介 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	06-6726-8880
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 晃技開発
事業場の所在地	大阪府東大阪市若江東町3-1-1
計画期間	2026年4月1日～2027年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	解体工事業
②事業の規模	年間施工件数:約113件(令和7年度実績)
③従業員数	30人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事の施工 ↓ 現場での分別解体・品目別保管 ↓ 許可を有する収集運搬業者へ委託 ↓ 中間処理施設で破砕・選別・再資源化 ↓ 再生利用又は最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役
産業廃棄物管理責任者
工事部・営業部・事務担当
各現場責任者
作業員・協力会社(分別・保管・搬出管理)
収集運搬業者 → 中間処理業者 → 再生利用・最終処分

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2025 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	排出量	別紙1の通り t t
	(これまでに実施した取組) 解体工事において分別解体を徹底し、木くず、がれき類、廃プラスチック類、金属くず等を現場で分別して排出している。再資源化可能な廃棄物はリサイクル施設への搬出を優先し、混合廃棄物の発生抑制に努めている。また、委託契約書、許可証及びマニフェストにより適正処理を管理している。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	排出量	別紙1の通り t t
	(今後実施する予定の取組) 現場ごとの分別精度を高め、混合廃棄物の削減及び再資源化率の向上に取り組む。現場責任者及び作業員への教育を継続し、過剰搬出の防止、分別保管の徹底、適正な処理委託を実施する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	がれき類、コンクリートがら、アスファルト・コンクリートがら、木くず、金属くず、廃プラスチック類、ガラス・陶磁器くず、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物等を現場で可能な限り分別し、品目ごとに保管・搬出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	引き続き品目別分別を徹底し、混合廃棄物の発生を抑制する。石綿含有産業廃棄物については他の廃棄物と混合しないよう分別・梱包・表示を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(	2025	年度)実績】
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社では産業廃棄物の再生利用は行っていない。再生利用可能な廃棄物については、許可を有する処理業者へ委託し、再資源化施設で適正に処理している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社での再生利用は予定していない。今後も再生利用可能な廃棄物は再資源化施設への委託処理を優先する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(	2025	年度)実績】
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社では産業廃棄物の中間処理及び熱回収は行っていない。全量について許可を有する収集運搬業者及び処分業者へ委託している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社での中間処理及び熱回収は予定していない。今後も許可業者への委託により適正処理を行う。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(	2025	年度)実績】
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社では産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。必要な最終処分は許可を有する処分業者へ委託している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社での埋立処分又は海洋投入処分は予定していない。引き続き許可業者へ委託し、適正処理を確認する。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(	2025	年度)実績】
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	別紙2の通り t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2の通り t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物の処理は、許可を有する収集運搬業者及び処分業者へ委託している。委託契約書、許可証、マニフェストを確認し、処理状況を管理している。再資源化可能な廃棄物については、再生利用が可能な処理施設への委託を優先		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り		
	全処理委託量	別紙2の通り	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2の通り	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	委託先の許可内容及び処理能力を確認し、適正処理を継続する。再資源化可能な品目は再生利用業者への委託を優先し、優良認定処理業者の活用についても検討する。電子マニフェスト及び紙マニフェストにより処理実績を把握し、法			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の排出抑制に関する事項(東大阪市)

産業廃棄物の種類	紙マニt	電子マニt	前年度実績 合 計t	目標t(計画期 間)	備考
その他がれき類	4.890	123,379.798	123,384.688	120,916.994	前年度実績の98%を目標値として設定
がれき類(石綿含有)	0.000	5,323.350	5,323.350	5,216.883	前年度実績の98%を目標値として設定
コンクリートがら	385.000	1,390.950	1,775.950	1,740.431	前年度実績の98%を目標値として設定
混合(管理型含む)	37.050	672.770	709.820	695.624	前年度実績の98%を目標値として設定
木くず	181.360	347.030	528.390	517.822	前年度実績の98%を目標値として設定
ALC	0.000	255.410	255.410	250.302	前年度実績の98%を目標値として設定
廃石膏ボード	49.650	22.830	72.480	71.030	前年度実績の98%を目標値として設定
混合(安定型)	0.000	36.010	36.010	35.290	前年度実績の98%を目標値として設定
アスコンがら	10.000	1.140	11.140	10.917	前年度実績の98%を目標値として設定
ガラス・陶磁器くず	7.660	0.000	7.660	7.507	前年度実績の98%を目標値として設定
石綿含有産業廃棄物	5.500	0.000	5.500	5.390	前年度実績の98%を目標値として設定
がれき類	0.000	1.250	1.250	1.225	前年度実績の98%を目標値として設定
繊維くず	0.807	0.000	0.807	0.791	前年度実績の98%を目標値として設定
合計	681.917	131,430.538	132,112.455	129,470.206	

別紙2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項(東大阪市)

産業廃棄物の種類	全処理委託量 実績t	優良認定処理 業者 実績t	再生利用業者 実績t(参考)	熱回収認定業 者 実績t	熱回収認定業 者以外 実績t	全処理委託量 目標t	備考
その他がれき類	123,384.688	0.000	123,384.688	0.000	0.000	120,916.994	
がれき類(石綿含有)	5,323.350	0.000	0.000	0.000	0.000	5,216.883	
コンクリートがら	1,775.950	0.000	1,775.950	0.000	0.000	1,740.431	
混合(管理型含む)	709.820	0.000	0.000	0.000	0.000	695.624	
木くず	528.390	0.000	528.390	0.000	0.000	517.822	
ALC	255.410	0.000	0.000	0.000	0.000	250.302	
廃石膏ボード	72.480	0.000	0.000	0.000	0.000	71.030	
混合(安定型)	36.010	0.000	0.000	0.000	0.000	35.290	
アスコンがら	11.140	0.000	11.140	0.000	0.000	10.917	
ガラス・陶磁器くず	7.660	0.000	0.000	0.000	0.000	7.507	
石綿含有産業廃棄物	5.500	0.000	0.000	0.000	0.000	5.390	
がれき類	1.250	0.000	1.250	0.000	0.000	1.225	
繊維くず	0.807	0.000	0.000	0.000	0.000	0.791	
合計	132,112.455	0.000	125,701.418	0.000	0.000	129,470.206	